

「宮城・山形」合区に反対

自民山形県連 党に維持要請へ

参院の選挙制度改革協議会
で提案されている宮城・
山形両選挙区の合区を盛り
込んだ案について、自
民党山形県連は11日、山

形市内で勉強会を開き、
合区案に反対する方針を
決めた。「山形の声が反映
されなくなる」というの
が理由。県連幹部が週内
に上京し都道府県単位の
選挙区維持を求め、党本
部に要望書を提出する。
要望書は比例代表の定
数調整などで「一票の格
差」を是正するよう提言
する。自民党が目指す憲
法改正で、参院の役割を
「地域代表」と新憲法に
明記することも求める。

野川政文山形県連幹事
長らが党本部を訪ね、協
議会座長で提案者の脇雅
史党参院幹事長や石破茂
党幹事長、溝手顕正参院
議員会長らに要望書を手
渡し、山形県連の反対意
思を伝える。

が集中し、地域格差を拡
大させてしまう」との理
由から、出席者全員が反
対したという。
大沼瑞穂参院議員(山
形選挙区)は「党内では
参院制度改革と並行し、
道州制が議論されてい
る。1力所でも合区にな
れば一気に道州制へ進む
可能性もある」と語った。
合区案は協氏が先月25

日に提案。22府県を対象
に人口が少ない選挙区と
隣接選挙区を統合する。
東北は「岩手・秋田」「宮
城・山形」に再編する。
座長案によると現行の
定数(宮城4、山形2)
を合区して2減し、定数
4とする。両選挙区の人
口は山形113万に対
し、宮城は倍以上の23
2万となっている。